

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

～第42報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当  
平成22年1月18日

## 1. 最も数が多かった種類(優占種)

### 植物プランクトン第1優占種



*Uroglena americana*  
(ウログレナ)  
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

### 動物プランクトン第1優占種



*Polyarthra vulgaris*  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、4カ所に鳥の羽状の付属物を有する。  
前部に2本の触角がある。

#### コメント

植物プランクトンでは、黄色鞭毛藻に属するウログレナ(*Uroglena americana*)が優占種となった。体積で見ると黄色鞭毛藻に属するディノブリオン(*Dinobryon cylindricum*)が優占種であった。黄色鞭毛藻類が総体積の約51%、珪藻類が約21%を占めた。なお、その他の緑藻とした種は、ヒビミドロのなかまの *Klebsormidium* sp. (クレブソルミジウム) が5細胞/mlであった。動物プランクトンでは、ハネウデワムシが300個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは非常に少なく、輝橙色のものが630細胞/ml計数され、深赤色のものは見られなかった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	300

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	210

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当

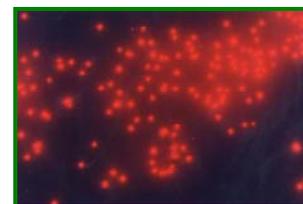
## (2) 植物プランクトン

平成22年1月18日

第42報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	数 体積	
		数	体積
(藍) <i>Aphanocapsa elachista</i> var. <i>conferta</i> *	20		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	660	◎	○
(黄鞭) <i>Dinobryon cylindricum</i>	60		◎
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	11		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	2		
(黄鞭) <i>Synura petersenii</i>	20		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	2		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	270	○	
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	30		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	90		
(珪) <i>Synedra acus</i>	11		
(珪) <i>Synedra</i> sp.	7		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(渦) <i>Glenodinium</i> sp.	2		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	110		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	16		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	4		
(緑) <i>Quadrigula chodatii</i>	2		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	10		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	5		
(緑) その他の緑藻	5		
(藍) 藍藻綱	20	1.3	8.7
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	753	50.3	50.5
(珪) 珪藻綱	490	32.7	21.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	2	0.1	0.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	190	12.7	16.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	42	2.8	2.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	1497	総体積	9.17E+05
種 類 数	22	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	1月18日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	630

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが $0.2\sim 2\mu\text{m}$ ( $1\mu\text{m}$ は $1\text{mm}$ の $1,000$ 分の $1$ )の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。